

同時資料配布先：

学研都市記者クラブ

経済産業記者会

2019年1月11日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

平成 30 年度 ALPS 国際シンポジウム
—経済成長と長期大幅排出削減の両立に向けた挑戦—
開催のご案内

2015年12月の気候変動枠組条約の第21回締約国会議（COP21）においてパリ協定が合意され、2016年11月に発効しました。世界の大多数の国が2020年以降の自国の温室効果ガス排出削減目標等を Nationally Determined Contributions (NDCs) として提出し、世界のほぼすべての国が排出削減に取り組む新たな国際枠組みができました。2018年10月には、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の「1.5°C特別報告書」が公表され、そして2018年12月のCOP24では、パリ協定実施のための詳細ルールの基本的な合意をみました。また、長期的な温室効果ガス低排出型の発展を目指した「長期低排出発展戦略」の国連への提出期限（2020年）が迫ってきていることもあり、2050年以降の長期にわたる温暖化対策やグリーン成長に関する議論が国内外で活発になってきています。

RITE では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」（通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization）を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、その中で、パリ協定の実効性を高めるためのレビュー方法の検討や、温室効果ガス排出削減を中心とする温暖化緩和策および適応策の評価、またこれらをどう組み合わせる長期の気候変動リスクに対応するか、について検討を行ってきています。更には、昨今のIoTの進展や、それに伴うシェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要サイドの革新につながり、効用（サービス需要）を下げずにエネルギー需要量を低減できる大きな社会的な変化の可能性も含んでおり、そのような将来的な低需要シナリオの検討や適切なファイナンスも含めたグリーン成長の検討などにも取り組んできています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所（IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis）、米国の未来資源研究所（RFF: Resources for the Future）、国際エネルギー機関（IEA）をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

このたび、様々な気候変動のリスクを認識しつつ、経済成長と長期大幅排出削減の両立に向けた方向性を探るため、また本研究事業の成果報告会を兼ねて平成30年度ALPS国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、この分野で活躍している国内外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂きます。地球温暖化を抑制して持続可能な社会を実現するために必要な政策について、幅広い方々が最新の研究成果をもとに深く考えられる機会にしたいと考えますので多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

1. 開催概要

主催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）

日時： 平成31年2月19日（火） 10:00-17:40

会場： 虎ノ門ヒルズフォーラム メインホール

（東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 5階）

プログラム：

10:00	開会挨拶	茅 陽一 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長
10:05	来賓挨拶	経済産業省 産業技術環境局
10:10	講演	山地 憲治 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事・研究所長 国内外の政策動向と CO ₂ 大幅削減への長期戦略シナリオ
10:40	講演	ネボーシャ・ナキシエノビッチ 国際応用システム分析研究所（IIASA） 副所長 ネットゼロ排出に向けた破壊的技術と持続可能なライフスタイル
11:20	講演	スティーブン・ローズ 米電力研究所 エネルギー・環境分析研究グループ 上級リサーチエコノミスト・技術エグゼクティブ 企業における気候政策リスクの評価 -企業、投資家などのための科学的基盤-
12:00	休憩	
13:15	講演	ヤスミン・アルサレーン 国際エネルギー機関（IEA） 世界エネルギー展望 シニアエネルギーアナリスト 世界エネルギー展望 2018 からの電力の遷移に関する洞察
13:55	講演	野村 浩二 慶應義塾大学 産業研究所 教授 エネルギー生産性改善の黄金期は再び訪れるか？
14:35	講演	杉山 大志 キヤノングローバル戦略研究所 上席研究員 汎用目的技術と地球温暖化
15:15		
15:35	講演	ヤリ・カウピラ 国際経済開発協力機構（OECD） 国際交通フォーラム 統計・モデリング部門長 （講演タイトル未定）
16:15	講演	アーノルフ・グリュープラー 国際応用システム分析研究所（IIASA） 新技術移行プログラムディレクター 持続可能な開発と大幅脱炭素化のための代替的戦略 -エンドユース、効率、粒度、デジタル化への新たな注目-
16:55	講演	秋元 圭吾 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー 製品、サービス、社会システムのイノベーションと温暖化対策への影響
17:35	閉会挨拶	本庄 孝志 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事

2. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先

- ・ シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先

システム研究グループ

TEL : 0774-75-2304 FAX : 0774-75-2317

- ・ 広報に関するお問い合わせ先

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 中村、辰巳

TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-2-75-2314 E-mail: pub_rite@rite.or.jp